

学校感染症予防対策／衛生管理マニュアル

令和2年6月29日一部改訂

◆消毒液保管場所

- ① 寄宿舎食堂保管：次亜塩素酸水
- ② 保健室保管：次亜塩素酸ナトリウム溶液・アルコール消毒液・ハンドソープ(原液)

※教室内設置：ハンドソープ(500mlポンプ) 次亜塩素酸水(500mlポンプ)
アルコール消毒液(1000ml) ペーパータオル(消毒用)



保健室 健康安全係

筑波大学附属視覚特別支援学校

◆一日の行動マニュアル

	教員	生徒
登校後 ()	①健康観察 健康観察表をまとめて保健室に提出 * 自覚症状、他覚症状(右枠の保健室資料参照)	①手指消毒(手洗いの手順に沿って)※保健だより4月号でも紹介 ②給水
授業中 (授業担当)	①換気 廊下側片側開戸・窓10cm程度開窓 ②原則としてマスク着用で授業を行う	①マスク着用 原則マスク着用を推奨するが、生徒の体調により判断する ※発言時、咳症状のある場合は必ずマスクを着用する
各授業後 (授業担当)	①消毒(次亜塩素酸水からアルコール消毒液へ切替) ■ドア取手(その周辺)■教卓■生徒が触れた物品等 ②換気 廊下側扉、窓を一度全開にして3分程度換気を行う ③健康確認 生徒への声掛け確認を行う	①マスク着用 近距離会話時、咳症状のある場合 ②手指消毒(手洗いの手順に沿って) ③行動自粛 不必要なクラスの往来等 ④給水
昼休み ()	①換気 廊下側扉、窓を全開にして換気を行う ②健康観察 HRで体調の変化を観察する	①手指消毒(手洗いの手順に沿って) ②給水
放課後 ()	①体調確認 観察、声掛け等で体調確認を行う	①体調確認(セルフチェック) 体調の変化があれば担任、保健室に相談する
下校後 ()	①消毒(アルコール) ■ドア取手(その周辺)■水道蛇口■生徒机■教卓■ロッカー ■スイッチ(エアコン・照明電源) ②ごみ捨て ゴミ箱2/3程度を目安にごみ捨てを行う	不要不急の外出は避けましょう 生活習慣を整えて明日に備えよう! (食事・運動・睡眠・ストレスをためない)
◆共用部分の消毒 【清掃員の方の担当】 日中(10:00~15:00) ■トイレ内ドア ■階段手摺 ■校舎入口 ■自販機 【保健室の担当】 放課後(16:10~) ■校内巡回時に共用部分を消毒する 【体育科】 ■入口 ■更衣室など 注)他学部で体育館を使用する場合は、当該学部で指定箇所の消毒を行う。	◆衛生用品の補充 ①次亜塩素酸水→厨房へ 月木：幼小専 ・昼休みに厨房裏口検品棚に容器を置く 火金：中高 ・14時以降に補充容器を回収し各教室へ配置 ②アルコール、ハンドソープ、ペーパータオル、マスクは 必要に応じて随時保健室にもらいに行く マスクは職員室へ。 ※衛生用品補充は、各科目で担当を決めて対応してください!	

【消毒液特徴】

- ①次亜塩素酸水
 - ・食品添加物として指定される水溶液
 - ・人体に影響がなく、万が一体内に入っても残留性はありませぬ
 - ・ウイルス、細菌に対する除菌効果が期待されています
- ②次亜塩素酸ナトリウム溶液
 - ・家庭用の塩素系漂白剤、殺菌剤に使用される
 - ・細菌、ウイルス、カビに対して効果があります
 - ・強い酸化力があり金属に使用すると錆が生じやすい
 - ・皮膚につくと火傷症状が出る場合がありますので注意が必要
- ③アルコール(エタノール)
 - ・インフルエンザウイルス、コロナウイルスに効果が強い
 - ・石鹸手洗いとの二重使用で殺菌効果が倍増する

次亜塩素酸ナトリウム溶液による校内の消毒は、
養護教諭と清掃スタッフ(委託)で行います。



*このマニュアルは、感染防止対策を見直していく中で、今後、変更される可能性があります。

【生徒の自覚症状・他覚症状】

★外見からわかる項目(他覚的症状)

- ☐顔色が悪い、☐元気がない、☐眠そう、☐だるそう、
☐咳をしている、☐鼻水、☐鼻づまり、☐いつもと違った様子 など

★本人の訴えによる項目(自覚的症状)

- ☐頭痛、☐腹痛、☐発熱、☐気持ち悪い、☐眠い、☐のどが痛い、
☐吐気、☐下痢 など

【保健室での対応】

★保健室のドアは常時、開いたままになっています。

- ・付き添いの先生(または生徒)は、中に入らず入口で症状を教えてください。
- ・怪我の場合は保健室で処置しますが、体調不良の場合は265で対応します。
【冷水器】

★直接飲まないようにする

【消毒のやり方】

★生徒の手指消毒

基本は手洗い・顔をいじらない

手洗いの6つのタイミング

- ・外出後 ・咳やくしゃみ、鼻をかんだ時
- ・掃除後 ・トイレの後 ・食事の前
- ・共有物を触る前後

□手洗い順序(必須)

- step1 流水で手全体を濡らす
 - step2 ハンドソープで良く泡立てる
 - step3 イラスト(下図)の箇所を良く洗う
 - step4 流水でしっかり流す
 - step5 きれいなハンカチで拭く
 - step6 アルコールを片手にワンプッシュして両手全体に馴染ませる
- 注) アルコールが使用できない生徒がいたらノンアルコール除菌シートを使います。
注) 基本はきちんと手洗いを行う事です。消毒液に頼るのではなくしっかりと手洗いでウイルスを洗い流すことができます。

10秒 揉み洗い
15秒 流水ですす

□うがい順序(必要に応じて)

- step1 口に水を含み、強くグチュグチュしながら洗い流す
- step2 もう一度水を口に含み、上を向いてガラガラうがいをする
- step3 10~15秒で吐き出す
- step4 2~3回繰り返す

★環境消毒

①次亜塩素酸水を使用した消毒(2020年6月29日改訂)

- ・遮光スプレーボトルから次亜塩素酸水を直接対象物に散布し、ペーパータオルで拭く。
- 注) 汚れを予め落としておき、表面をひたひたにして、20秒後に拭き取る。
- 注) パソコン、電気製品には直接散布しない!故障の原因となります!

②アルコール消毒液を用いた消毒(主に手指の消毒、下校後のHR環境消毒)

- ・アルコールスプレーボトルからアルコールをペーパータオルに吹き付けて所定の場所を拭く。→消毒液確保の見直しにより、②のアルコール消毒液による消毒作業へ切替
- ※在校時間は、次亜塩素酸水での消毒になりますが、空気中への噴霧はしません。
- 下校後はアルコールで除菌してください。

★熱中症の危険性(水筒を準備しよう!)

高温多湿の時期に加えて、マスクを装着するため「熱中症のリスク」が高まる危険性が指摘されています。生徒の体調変化を「熱中症」の観点でも注意して下さい。※マスクにより口内が多湿となり、喉の渇きを感じにくくなります。小まめな水分摂取を促してください。
【熱中症初期症状】立ちくらみ・顔のほてり・けいれん・倦怠感・吐気etc.